

魅せる写真の撮り方研究会

尾形 尚子* 新島 佐知子* 寺門 秀人** 小林 真弓**

1. はじめに

笠間焼製造業界より、「コロナ禍でイベントが減り作品の売り場がない…」、「インスタグラムでPRしているけど、いまひとつ反応が鈍い…」、「インスタグラムでフォロワー数が多い作家と比べると、なんとなく写真の撮り方が違う気がする…」などの声が挙がっていた。そこで、当センターでは、プロのカメラマンを講師に、魅せる写真の撮り方を学び、情報発信をしていく研究会を立ち上げることになった。

2. 目的

ファン獲得や作品購入の大きな動機づけとなる作品写真は、キレイに撮れていれば、目に付く・良いというものではなく、作品そのものの特徴や情報、世界観をきちんと伝えなければならない。そのためには、まずは自分の作品の魅力を知ること、そして、それを最大限に伝える写真を撮ることが大切である。作品を正しく伝える魅せる写真撮影術を学びんでいただくことを目的とする。

3. 研究内容

研究会は、参加者10名、1回3時間の内容を計4回実施した。第1回目から第3回目は、撮影のポイントを座学で学んだ後に、それらを実践するため、自分の作品を撮影し講評を受けるワークショップ形式で進めた。第4回目は情報発信のまとめについて座学を行った。

3.1 第1回研究会(6/22)について

第1回目では、「何のために写真を撮るのか」、「どんな人に見てもらいたいのか」、「写真を見た人に、どうなってほしいか」などの問いかけをしながら、参加者の目指す世界観を考えてもらう座学を行った(図1)。また、「撮影ポイントとして、明るい自然光が入ってくる場所を選ぶ」、「さまざまなアングルで撮る」、「主役的位置を考える」などを学んだ。



図1 第1回研究会 座学風景

ワークショップでは、座学での撮影ポイントを考慮

しながら、持参した自分の作品を自分で撮影し、全体で講評会を行った(図2)。



図2 ワークショップ風景

第1回目の研究会から、同じ器の写真なのに、研究会参加前と後では、見え方が大きく異なる魅力的な写真を撮ることができ、早くもインスタグラムへ投稿し、好評を得ることができた(図3、図4)。



図3 研究会で撮影した写真(左が参加前、右が参加後)



図4 インスタグラムへ投稿した写真
(線から上が研究会参加後の写真)

3.2 第2回研究会(7/29)について

第2回目では、発信するツール、Instagramについて、「ハッシュタグの使い方」や「投稿する際に9画面で1パターンのくくりで色の統一感をだす」などを学んだ。その後、3人1組のグループワーク形式でワークショップを行った。お互いの作品を撮り合ったり、1枚の写真の中に、色々な作り手の作品を並べて撮ったり(図5左)、食べ物で彩りを追加したり(図5右)、グループごとに工夫をこらしながら撮影をした。作品の組み合わせによって、今まで見えていなかった自分の作品の魅力を発見したり、自分の作品を他の人が撮ると違って見えたりすることから、さらに意外な気づきに繋がった。



図5 グループで撮影した写真

3.3 第3回研究会(10/20)について

第3回目では、料理(季節の食材を取り入れた薬膳スープ:万年屋より提供)を対象に撮影を行った(図6)。あくまでも器をメインとして見せたいのだが、その中にも存在する器と料理のバランス、美味しそうに見えるかどうか、なども考慮して撮影に挑んだ。料理の盛り付けのコツ(具材の配置や美味しそうに見えるツヤ感など)や、撮影の時に気をつけなければならない影の写りこみ、背景の布で印象が変わること等、実際の食べ物を扱うことで、より具体的に学ぶことができた。



図6 スープを入れて撮影した写真

3.4 第4回研究会(12/1)について

第4回目では、まとめとして「集客・広報とはなにか」をテーマに座学を行った。まずは、知ってもらう・好きになってもらうことが重要である。そして、写真の発信には、広報8割、集客2割を意識して行うことを学んだ。

4. 研究結果と考察

最終目標として、全会員のInstagramフォロワー数30%アップ、ECサイトでの販売1社を掲げていたが、結果は会員10名中7人がフォロワー数30%アップ、ECサイトでの販売1社に至った。結果を表1に示す。

この研究会をきっかけにInstagramを始めた方(I氏)を始め、約7か月間で1人当たり平均投稿数20枚程度、平均フォロワー増加数100人以上となった(表1)。

また、各会員がInstagramへの投稿後、フォロワーからの「いいね」や「最近、写真が変化して良くなりましたね」などの多くのコメントをもらい、自信にも繋がった。

表1 Instagramのフォロワー数と増加率
*黄色は目標の30%増加を達成した会員

会員	研究会スタート時調査(6/22)		中間調査9/29		最終調査(1/24)			
	投稿数	フォロワー数	フォロワー中	フォロワー数	増加率%	投稿数	フォロワー数	増加率%
A	253	469	250	491	4.7	270	498	6.2
B	49	225	209	283	25.8	77	338	50.2
C	325	890	690	1150	29.2	374	1501	68.7
D	6	55	64	87	58.1	17	154	180
E	120	848	395	887	4.6	130	921	8.6
F	60	190	276	247	30	102	308	62.1
G	73	64	43	79	23.4	92	94	46.9
H	51	190	158	211	11.1	57	227	19.5
I	0	2	2	44	2100	8	50	2400
J	13	145	72	171	18	20	190	31

5. まとめ

情報過多の昨今においては、常に作品の情報発信をしなくてはならない。笠間焼業界は、1~3名の小規模な工房が多い。作品制作を行う傍らで、作品撮影・情報発信と限られた時間の中でこなしていくのは、大変な作業である。本研究会で、写真撮影のポイントを学び、フォロワーのプラスのコメントをもらうことなどで、撮影にも自信が付き、楽しんで発信できるようになり、大きな成果に繋がった。

6. 今後の課題

今後も継続して、参加された会員ひとりひとりが自分の作品の魅力的な写真を撮影し、情報発信することが大事である。作品を知ってもらう・好きになってもらうことで、更なるファン獲得や販売に繋がって頂きたい。

7. 謝辞

外部講師を務めていただいた、宇津井写真事務所の宇津井志穂氏に感謝の辞を述べたい。